

グループ経営理念 「地域社会との共栄」 「新しい企業価値の創造」

目指す姿

私たちは、

1. 社会から「信頼される東北電力グループ」
 2. お客さまから「選択される東北電力グループ」
 3. 質の高い業務を追求する「エネルギーサービスのプロフェッショナル」
- を目指します

経営目標（連結）

総資産営業利益率
（ROA）
4%程度

自己資本比率
30%以上
（平成23年度末）

主要施策

1. 社会から
「信頼される東北電力グループ」
を目指して

すべての事業活動において、安全確保を最優先に安定供給に向けて取り組んでいきます

- ・原子力発電所の品質保証を徹底していきます
- ・設備実態や自然災害等を踏まえた対策を着実に実行していきます
- ・「公衆災害」の撲滅、「ゼロ災・ゼロ疾病」の達成に向けた取り組みを強化していきます

企業の社会的責任（CSR）を着実に果たしていきます

- ・地域との協調・地域活性化の支援を行っていきます
- ・企業倫理・法令を遵守し、公正かつ透明な事業運営を行っていきます
- ・環境配慮型経営を通じて持続可能な成長を目指していきます

2. お客さまから
「選択される東北電力グループ」
を目指して

最適なエネルギーサービスの提供と、低廉な価格の実現を目指していきます

- ・魅力ある商品・サービスの充実に図り、お客さまの多様化する要望に的確にお応えしていきます
- ・効率的な設備形成・運用・保守および業務運営を継続的に追求していきます

企業グループが一体となって競争力強化に取り組んでいきます

- ・東北電力とグループ会社が一体となった業務運営を強化・徹底し、一層の定着を図っていきます
- ・競争力強化に資する研究開発およびIT活用を推進していきます

3. 質の高い業務を追求する「エネルギーサービスのプロフェッショナル」を目指して
企業グループ社員一人ひとりが自信と誇り、責任を持って業務品質の向上に取り組んでいきます

- ・次世代を担う社員の育成を図っていきます
- ・技術・技能の確実な継承と更なる向上を図っていきます

風通しの良い活力ある企業風土・組織風土を醸成していきます

- ・企業グループ間、部門間、本店と第一線事業所間などのコミュニケーションを充実していきます
- ・各本部・間接部門は、自律性を発揮し、グループ会社と一体となって、課題解決に取り組んでいきます

■ 経営環境変化と東北電力グループの現状

《社会環境》	経営環境変化	《競争環境》	東北電力グループの現状
● 原子力の安全・安心に対する社会的関心の高まり ● 安定供給に対するお客さまの要求レベルの高まり ● 資源の価格高騰と需給逼迫化 ● エネルギーセキュリティの確保が国家的重要課題 ● 企業倫理・法令遵守の徹底や、コーポレートガバナンスの充実、情報開示・説明責任、危機管理能力などに対する社会の要請の高まり ● 地域経済力、企業誘致件数など、日本国内での地域間格差の拡大 ● 地球環境問題への官民挙げての強力な取組み	● 少子高齢化・人口減少、省エネ推進等による電力需要の伸びの鈍化 ● お客さまの要望が多様化・高度化し、供給事業者の選別が今後常態化 ● P P S 等による競争力の高い新規発電所の運転開始 ● ガス・石油などの他エネルギーとの競争進展 ● 卸電力取引所の活性化や周波数変換設備の改修・増強等による全国規模の電力流通の活発化		● 原子力の品質保証体制総点検による「再発防止対策」策定 ● 大規模災害リスク(宮城沖地震等)の可能性 ● 温室効果ガス排出抑制目標の達成が喫緊の重要な課題 ● 設備経年化の進行 ● 数件の需要離脱発生 ● 社員の年齢構成のアンバランスなどによる技術・技能継承が懸念

■ 主要施策の内容

1. 社会から「信頼される東北電力グループ」を目指して

- すべての事業活動において、安全確保を最優先に安定供給に向けて取り組んでいきます
- 原子力発電所の品質保証を徹底していきます
 - 原子力品質保証体制総点検を踏まえた再発防止対策を着実に実行し、実施状況や実効性をチェックしながら、品質保証体制の継続的な改善を図っていきます
 - 設備実態や自然災害等を踏まえた対策を着実に実行していきます
 - 全社の保安レベル向上を目指して、経営層によるマネジメントを強化していきます
 - 近年の供給支障事故および自然災害等を踏まえた対策を着実に実行していきます
 - 中長期の安定供給に向けて、経年設備対策などを着実に実行していきます
 - 燃料の安定的確保や電源のベストミックスなどによりエネルギーセキュリティの確保に努めていきます
 - 「公衆災害」の撲滅、「ゼロ災・ゼロ疾病」の達成に向けた取り組みを強化していきます
- 企業の社会的責任（CSR）を着実に果たしていきます
- 地域との協調・地域活性化の支援を行っていきます
 - 地域社会との信頼関係強化に繋がる活動の展開を図っていきます
 - 企業倫理・法令を遵守し、公正かつ透明な事業運営を行っていきます
 - 企業倫理・法令の遵守に関する啓発活動・モニタリング活動などの展開により、誠実かつ公正で透明性のある事業活動を実践していきます
 - 内部統制およびリスクマネジメントを充実・強化していきます
 - ステークホルダー（地域、お客さま、株主、金融・資本市場等）に対する説明責任を果たし、的確な情報開示に努めていきます
 - 環境配慮型経営を通じて持続可能な成長を目指していきます
 - 温室効果ガスの排出抑制など地球環境問題に的確に対応していきます
 - 廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクルを推進し、循環型社会づくりに寄与していきます
 - 環境マネジメントの効果的な展開により、省資源・地域環境保全など、環境活動の継続的改善に取り組んでいきます

2. お客さまから「選択される東北電力グループ」を目指して

- 最適なエネルギーサービスの提供と、低廉な価格の実現を目指していきます
- 魅力ある商品・サービスの充実を図り、お客さまの多様化する要望に的確にお応えしていきます
 - お客さまに喜んでいただける料金メニュー・商品・サービスを提供していきます
 - お客さまのニーズ把握からサービス提供までをワンストップで実現するために企業グループの連携を強化していきます
 - 電化システム普及拡大による家庭用を中心とした新たな需要創出に向けた取り組みを強化していきます
 - 効率的な設備形成・運用・保守および業務運営を継続的に追求していきます
 - 中長期的視点に立った設備信頼度維持と効率的な設備形成・運用・保守の両立を図っていきます
 - お客さまへのサービス維持・向上と効率的な業務運営の両立を図っていきます
- 企業グループが一体となって競争力強化に取り組んでいきます
- 東北電力とグループ会社が一体となった業務運営（＝機能別事業運営：発電・流通・販売・間接の各機能を担う本部・部門と関係の深いグループ会社が一体となって施策を立案・実行）を強化・徹底し、一層の定着を図っていきます
 - 競争力強化に資する研究開発およびIT活用を推進していきます

3. 質の高い業務を追求する「エネルギーサービスのプロフェッショナル」を目指して

- 企業グループ社員一人ひとりが自信と誇り、責任を持って業務品質の向上に取り組んでいきます
- 次世代を担う社員の育成を図っていきます
 - 社員のやる気・やりがいを引き出す人材マネジメントを展開していきます
 - 社員一人ひとりの持続的な成長を支援する人材育成により、組織力の底上げを図っていきます
 - 戦略立案能力や専門知識・技術などを有する人材の育成・確保を図っていきます
 - 技術・技能の確実な継承と更なる向上を図っていきます
- 風通しの良い活力ある企業風土・組織風土を醸成していきます
- 企業グループ間、部門間、本店と第一線事業所間などのコミュニケーションを充実していきます
 - 各本部・間接部門は、自律性を発揮し、グループ会社と一体となって、課題解決に取り組んでいきます